

昭和28年(1953年)台風13号 朽木市場の水害経験マップ

② 盛土崩壊

取付け道路の盛土部分にたまった水が決壊。一気にあふれた水が集落に押し寄せた。集落の両側を回り込んで、水が流れていった。



水の流れた跡が田に残っています。

③ 3軒流失

押し寄せた水の勢いで、3軒の民家が流失。集落内にも濁流が押し寄せ、多くの家が床上浸水した。

霞堤

かつては県道まで浸かることもままあった。今でも300mmくらいの雨があると冠水している。

④ 北川が越水

北川

安曇川

船橋

船橋は昭和24年に被災しており、修復されていたが、この台風で流失した。



① 「切れと」決壊

「切れと」からあふれた水は、高台にある小学校への取付け道路の盛土に阻まれて、上流側でダムのように溜まった。

切れと

何度もこの場所で決壊しており、この場所を「きれと」と呼んでいる。ほこらが建てられ、水の神様をおまつりしている。場所は上流の岩瀬区だが、管理は市場区が行っている。

朽木中学校

朽木東小学校

学校への取付け道路

当時の安曇川は、今より幅が狭く、今の3分の2ほどだったのではないかと。

安曇川の流が堤防に当たる場所が「切れと」だった。

その時！ 水防活動と避難行動

「竹流し」などの水防工法を行っていたが、堤防の決壊が避けられないと見るや、サイレンを鳴らし、住民は高台の学校へ避難した。逃げ遅れた人もいたが、木につかまって難を逃れた。亡くなった人はいなかった。このころは、しょっちゅう水害を受けており、たびたび避難していて、すぐに逃げれた。

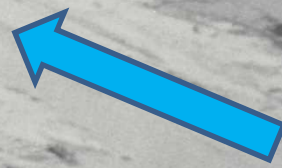
北川



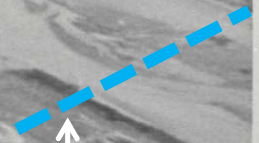
山神橋落橋



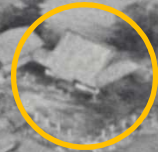
安曇川



船橋が流失



慶宝寺



丸八百貨店



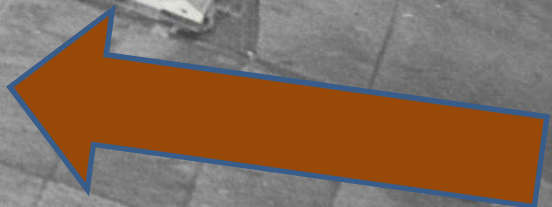
民家3軒流失



朽木村役場



安曇川からの洪水



昭和28年台風13号が襲った市場の集落